

土砂災害を減らすために

岩沼中学校

一年

三浦 みうら

蒼海 あみ

地震や大雨などで起こる土砂災害。自然の
力で起きる災害をどのように防いでいけばよ
いのでしょうか。

土砂災害は、山が多く地震も多いこの日本
では、とても身近な災害だと言えます。土砂
崩れやがけ崩れなどが起きると、家まで土砂
が流れて来る恐れがあります。そうなった
ら、たった一瞬で、家や大切なものまで失っ
てし

まいかねません。避難経路まで土砂が来てい
たら、避難することすらできなくなります。
土砂災害というものは、考えれば考えるほど
恐ろしいものです。

私の父は、陸上自衛官を務めています。父
は、過去に災害派遣で、台風の影響で土砂災
害が起こった被災地に行ったことがあるそう
です。そのことについて、私は詳しく聞いて
みました。

派遣された現場での父の仕事は、孤立した

場所にいる人をどうにかして助けることと、
 給水支援だったそうです。土砂災害を実際に
 経験したことがない私にとって、住民が孤
 立することなんて想像もできませんでした。
 もし私がその場所にいたら、きっと助けを求
 めることしかできなかつたと思います。

自然災害の一番怖いところは、水道や電気
 ガスなどのライフラインが絶たれることです。
 父が派遣された場所では、そのライフライ
 ンの一つである水道が止まっていたそうです。

そのため、トンの水が入るトレーラーを使
 い、道路が崩れていない安全な場所で、住民
 の方々に給水をする作業をずっとしていたと
 聞きました。トレーラーの水がなくなつたら、
 また水をくんでくるといふ繰り返し作業を行
 っていたそう。本当に自衛隊とは、被災住
 民にとって、頼りにされる存在なのだ。と改
 めて実感しました。

当時は、九月で、まだ夏の暑さが残ってい
 る時期だったそうです。そのため、時には、

「お風呂に入りたいから水をたくさんくれ」と要求される方も、中にはいらしたそうです。そのような方ひとりひとりにも対応していただくことは、結構凄いいことだな、と思います。それほど暑い時期に、お風呂に入れない辛さは、被災していない私には分からない辛さです。でも、話を耳にするだけで、被災するこの大変さを思い、絶対に被災したくないなと思いました。

では、自然災害に備えて私たちにできることには何かあるでしょうか。

土砂災害が起こる原因として、森林の伐採が挙げられます。近年は、森林の減少が大きくな問題にもなっています。森林には雨を吸収する働きがあるため、「自然のダム」とも言われています。森林が伐採されてしまうことで、大雨の際にたくさん雨を保つことが出来ず、崩れが起こってしまうわけです。情報通信機器が当たり前になってきているこの時代、外でかけまわって遊んでいた子供たち

は、いつの間にか室内でゲームばかりをするようになっ
て行きました。その結果、自然の木々との触れ合いも少
なくなりました。だからこそ森林のありがたみを理解でき
る人が少なくなっ
たのかもしれませんが。

私は、土砂災害の原因となっ
ている森林の減少を少し
でも止めることが出来た
なら、土砂災害を減らす
ことが出来るのではない
かと考えました。

そこで、私が考えたのは、タブレットをうまく活用して
いくことです。紙の材料のほとんどは木材です。紙の無駄遣
いや、使用量を減らすことで、森林の減少を少しでも防
ぐことが出来るのではないかと思っ
たのです。私たちは、小学一年生からタブレットを一人一
台、学校から生徒全員に支給されて
います。そのタブレットを、学習面や連絡面で上手く活用
すること
で、プリントとして配付される紙の使用量を減らすと資源
の無駄遣いを減らすことが出来るのではないかと思
いました。

土砂災害という大きな自然災害を防ぐことは、自分たちでは出来ないことなのかな、と無力感を感じてしまうことがあります。でも、父の話を通じて聞いてみて、災害は本当に怖いなと感じ、同時に、自分に同じようなことが起こったならどうしよう、と思った結果、思い着いたので。

ICT教育が進んでいく今、私たち中学生に出来ることは、まずは紙の使用量を減らすことです。タブレットの使い方次第でより良くなることはいくらでも出来るので、少しずつ、上手な活用方法を見つけ、身に付けていきたいものです。

土砂崩れは、いくら世の中が発展しても決してなくなることはないと言えます。なので備えが何よりも必要です。どのような方法でも、自分たち出来ることを地道に少しずつやっていくことが、土砂災害を含む自然災害への、一番の対策になるのではないかなと思います。